

請願

賛成少数で不採択

福島第一原発事故による ALPS処理水の海洋放 出方針の撤回を求める意 見書の提出を求める請願

提出された請願は、審査を付託された市民・都市常任委員会で請願人に対する質疑が行われました。本会議での採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

賛成意見

原発汚染水に含まれるほとんどの放射性物質は、おおよそ取り除かれるものの、ALPS処理水に含まれるトリチウムは濃度も量も国の基準を超えている。海洋汚染による生態系への様々な影

響は否定できない。政府がやるべきことは風評被害や環境への負荷の無いALPS処理水の本格的な研究、開発するための予算を確保し、民意を無視した拙速な海洋放出の方針を直ちに撤回することだ。

反対意見

ALPS処理水は汚染水から多核種を取り除いたものであり、汚染水が海洋放出されるわけではない。国の基準を超えたものも再処理される。科学的にはトリチウムが環境に与える影響は限りなくゼロに近く、そこで獲

れた海産物を摂取しても人体に何ら問題はない。議会という公の場でALPS処理水と汚染水を混同し、いたずらに危険性をあおることは許されず、採択することになれば漁業関係者などが懸念する風評被害を広めることになるのではないか。



連載企画 事業者に聞く

若い人に整備士を目指してほしい



伊東 久さん

生活にとって欠かせない移動手段である自動車、私たちの生活にとってなくてはならない乗り物です。技術革新の中、常に探求心と顧客満足度の向上に努める自動車整備士から話を伺いました。



Q 自動車整備士を目指したきっかけは。

A 小さい頃から機械をいじるのが好きでした。自宅が整備工場であったことも

あり、高校進学時に工業系の学校に進学し、その後専門学校で整備士の資格を取得しました。

Q 仕事の内容を教えてください。

A 車検、法定点検整備、車の修理などを行っています。

Q 仕事で大変なことは。

A 修理工場内は基本的には屋外環境と同じです。夏の時期や冬の時期など気温の変化が激しい中で作業します。

また、近年車業界の技術革新が著しく、各メーカーから発行される技術情報などに

目を通して常に新技術について勉強し続けなくてはいけないことです。

Q 自動車整備士の人手不足の現状は。

A 新卒採用の就職先はディーラーが多く、まちの修理工場に就職する方は少ない状況です。

また、業界全般的に賃金、仕事の環境など様々な要因で若い方の離職率も高い状況です。ハローワークなどで新規の求人も行いましたが、若い方の応募もなく厳しい状況です。

Q 市に求めるものは。

A 業界としても若い技術者の育成や賃金、職場環境の向上などなり手不足解消に向けて取り組んでいます。

また、子ども達にも自動車整備士の職場体験など、知ってもらい取り組みを行っている事業所もあります。多くの若い方に自動車整備士を目指してもらえるように理解を深めてもらえるような取り組みや企業紹介などを行っていただければと思います。